

CDX-700D

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書・保証書



ご使用前に必ずお読みください。

特長

このたびは、ヤマハ・コンパクトディスクプレーヤーCDX-700Dをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CDX-700Dの優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用前に	3
接続のしかた	4
コンパクトディスクの取り扱い	5
リモコンを使う前に	6
各部の名称とはたらき	7
基本的な演奏	11
好きなところから演奏	14
ダイレクト選曲	14
インデックスサーチ	15
演奏中に好きなところをサーチ	17
スキップ選曲	17
マニュアルサーチ	17
聴きたい曲をお好みの順番で演奏	18
プログラム演奏	18
聴きたくない曲を飛ばして演奏	21
デリートプログラム演奏	21
曲順を自動的に並べ換えて演奏	23
ランダム演奏	23
くり返し演奏	24
一曲リピート	24
全曲リピート	24
2点間(A-B)リピート	24
タイマー演奏	25
ヘッドホンについて	25
故障かなと思ったら	26
参考仕様	27
ヤマハホットラインサービスネットワーク	28

本機はCD(コンパクトディスク)の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、最新の技術を結集して開発されました。
周波数特性5Hz～20,000Hz、ダイナミックレンジ95dB以上、高調波歪率0.004%(1kHz)、SN比100dB以上(EIAJ)、ワウ・フラッター測定限界以下という優れた特性に裏付けされた精緻な音質を実現しました。

● デジタル出力端子を装備

サンプリング周波数44.1kHzフォーマットのデジタル出力端子を装備。D/Aコンバーター内蔵のアンプにデジタルダイレクトインで本格的なデジタルオーディオシステムを構成できます。

● 先進のテクノロジーを満載

ヤマハの新開発CD専用LSIにより、高度な信号処理を極めてコンパクトな形で実現しました。デジタルフィルターなどのデジタル回路の大半をLSI化したため、小型化が可能となり高い信頼性を確保しました。

● マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピュータを搭載することにより、プログラム演奏、デリートプログラム演奏、ランダム演奏、リピート演奏(全曲、一曲、2点間、プログラム)、インデックスサーチなどCDに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏が簡単操作でお楽しみいただけます。

● 演奏状態を常に確認できるマルチディスプレイ

演奏中の曲番、プログラム番号、演奏経過時間、残量時間などを分秒単位でデジタル表示。またプログラム演奏、リピート演奏などの各演奏モードも常にインジケーターが表示していますので確認が容易です。さらにディスクの演奏状況が一目でわかるミュージックカレンダーを装備しています。

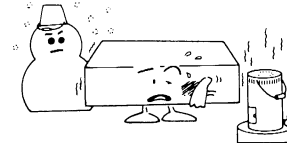
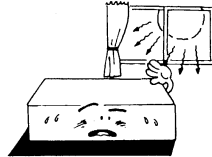
● リスニングルームで威力を発揮するリモコン

付属のリモコン(RS-CD9)を使用すれば離れたところから電源ON/OFF以外の操作を行なうことができます。

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

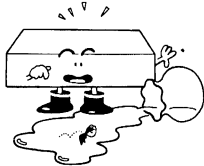
窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



結露現象について

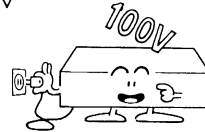
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に霧が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

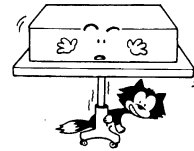


国内のみ使用できます

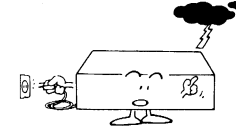
家庭用電源コンセント
AC100V



不安定な場所をさけて！



雷が近づいたら

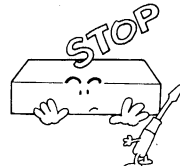


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁



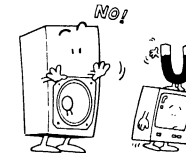
開けないで！



コードを引っばらないで！



磁気・テレビはさけて！



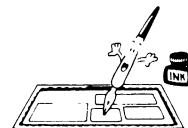
こわれた？



26ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



取扱説明書はかならず保管してください。



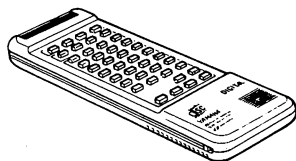
ファイルなど

ご使用前に

付属品の確認をしてください

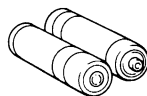
付属品は3点あります。

・リモコン送信機(RS-CD9)

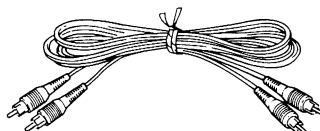


・乾電池

単3(SUM-3)×2本

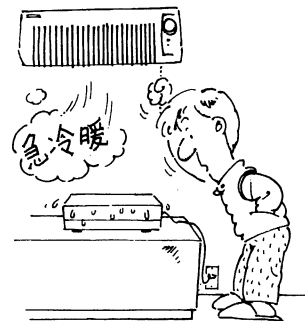


・出力コード



結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。



設置について

- 本機を設置する際は、振動のない水平な場所を選んでください。
また、アンプなど、熱を発生する機器の上には設置しないようにしてください。
他のオーディオ機器と一緒にラックに入れる場合には、アンプなどから出る熱の影響を避けるため、アンプよりも下の棚（ホコリをかぶる心配のないできるだけ下の棚）に入れ、風通しをよくしてご使用ください。
- 本機がチューナーなどの他の機器に妨害を与えるようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。

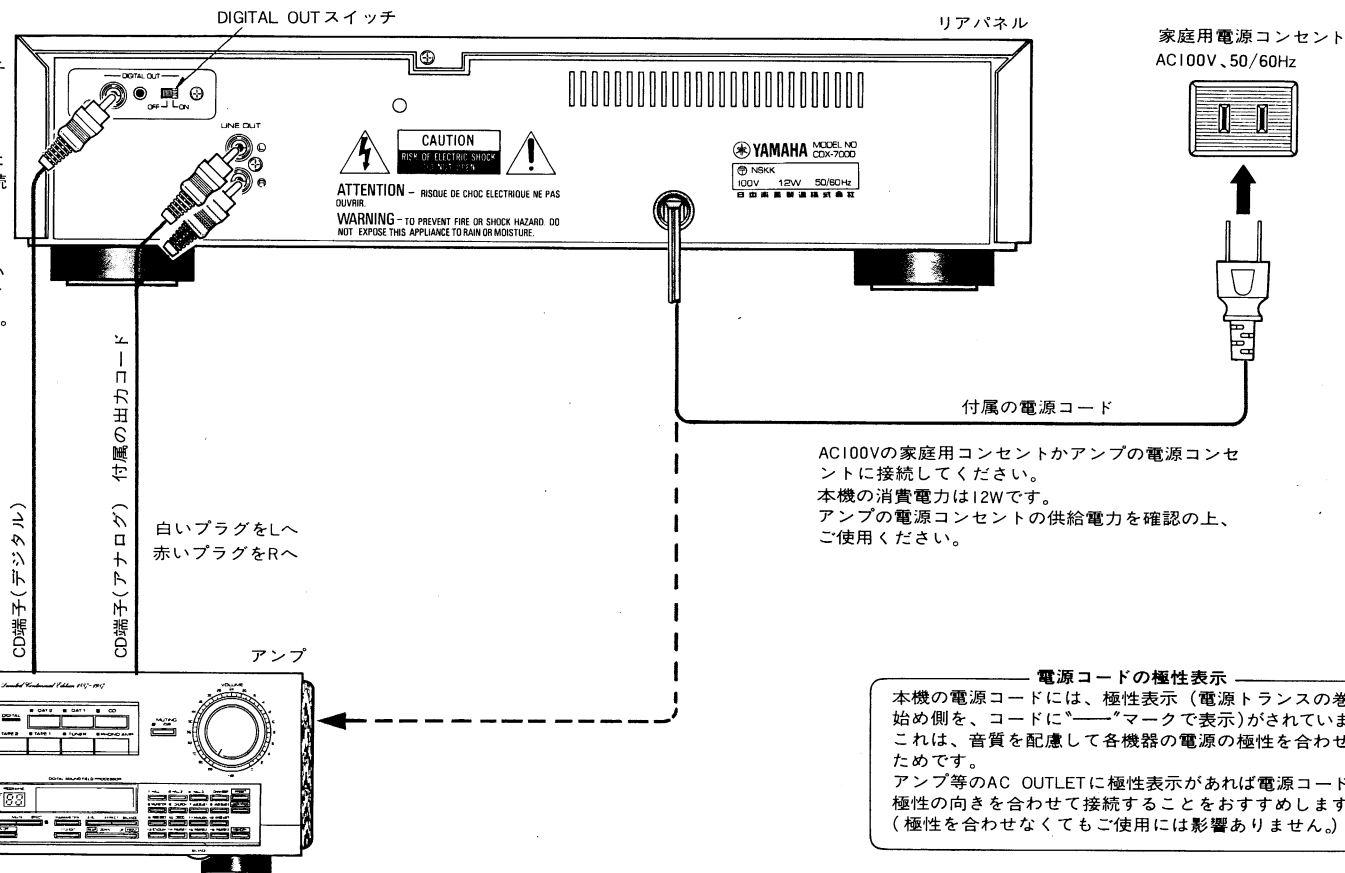
接続のしかた

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 出力コード……左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認して、正しく確実に接続してください。

DIGITAL OUT 端子

デジタル信号を出力する端子です。ご使用になるときはDIGITAL OUTスイッチをONにしてください。
デジタル入力端子を装備したアンプやD/Aコンバータと接続できます。(デジタル信号は、本のコードでL、Rの信号が出力されます。)
※本端子をご使用にならないときは必ずDIGITAL OUTスイッチをOFFにしてください。




AC100Vの家庭用コンセントかアンプの電源コンセントに接続してください。
本機の消費電力は12Wです。
アンプの電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。

電源コードの極性表示

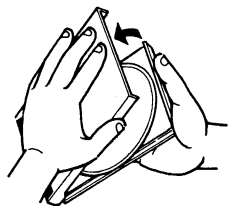
本機の電源コードには、極性表示（電源トランスの巻き始め側を、コードに「—」マークで表示）がされています。これは、音質を配慮して各機器の電源の極性を合わせるためです。
アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば電源コードの極性の向きを合わせて接続することをおすすめします。（極性を合わせなくてもご使用には影響ありません。）

コンパクトディスクの取り扱い

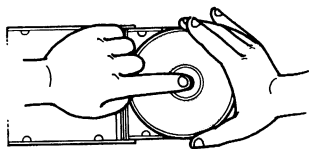
本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。  マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

ケースからの取り出しかた

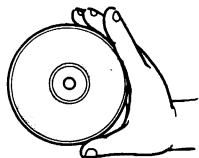
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。

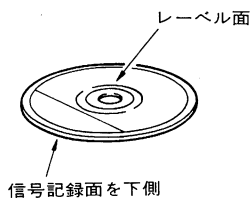


3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

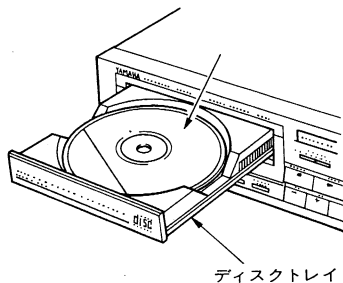


ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)



※市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音質にはまったく影響ありません。



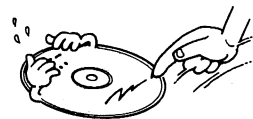
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



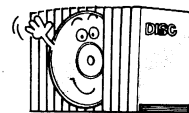
- 曲げたりしないでください。



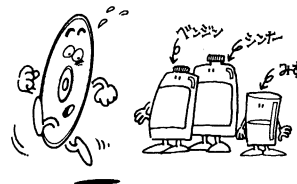
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



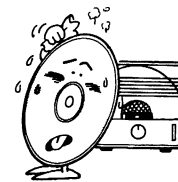
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



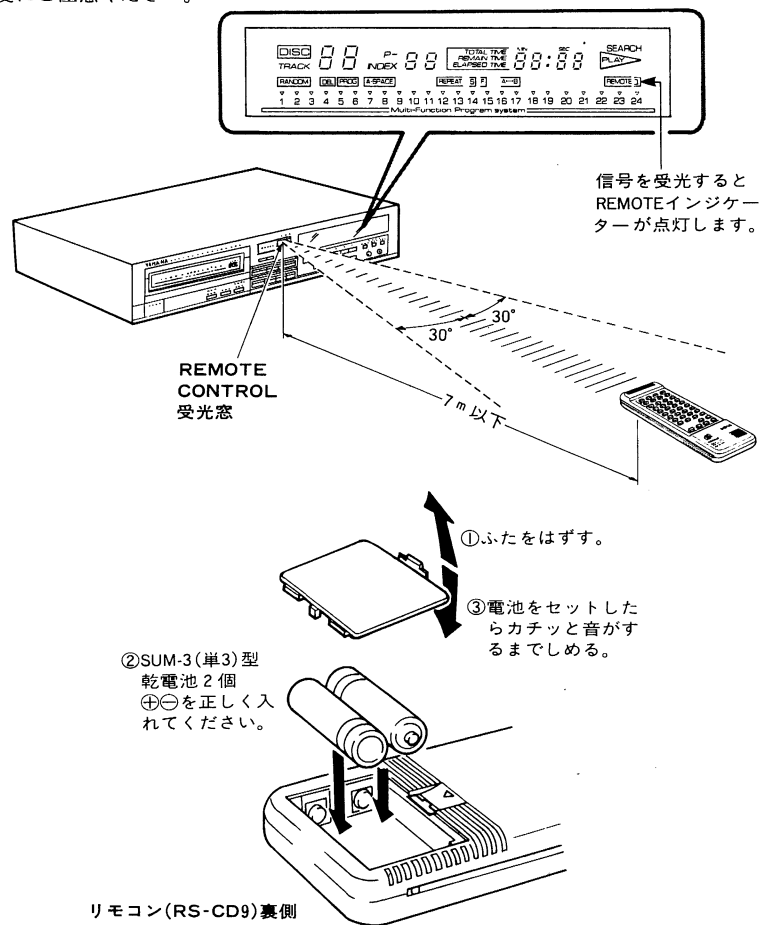
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



リモコンを使う前に

付属のリモコン(RS-CD9)をご使用になりますと、基本操作のほとんどを離れた場所から行なうことができます。

操作の前に、付属の乾電池をリモコンに正しくセットしてください。また信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、リモコンとCDX-700D本体の受光窓との角度にご注意ください。



電池の交換時期

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池も使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。

次の点については、特にご注意ください。

電池の交換のときは

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

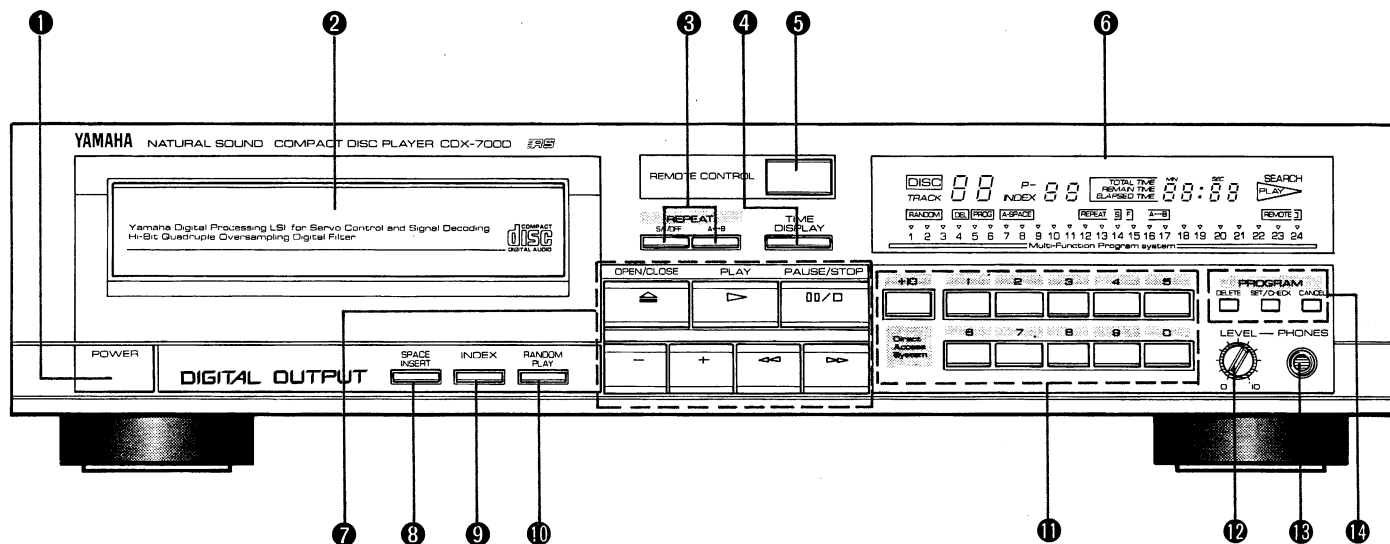
万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。
また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。
- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

各部の名称とはたらき



① ^{パワー}POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。電源が入ると、各部のインジケータが点灯します。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。ディスクトレイは軽く手で押しても、^{プレイ}PLAYキーを押しても閉まります。

※電源がONの状態であれば、ディスクトレイの開閉はできません。

③ ^{リピート}REPEAT操作キー

くり返し(リピート)演奏を行なうときに操作するキーです。

S/F/OFF：一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートのセットと解除
およびA↔Bリピートの解除に使用します。(☞24ページ)

A↔B：2点間リピートのセットに使用します。(☞24ページ)

④ ^{タイム}TIME ^{ディスプレイ}DISPLAYキー

タイムインジケータ(マルチディスプレイ⑥内)の表示内容を切り換えるキーです。キーを押すごとに、その曲の演奏時間(ELAPSED TIME)、残量時間(REMAIN TIME)、総演奏時間(TOTAL TIME)が順番に表示されます。
(☞13ページ)

⑤ ^{リモート}REMOTE ^{コントロール}CONTROL受光窓

リモコンからの信号(赤外線)を受光する窓です。受光すると、マルチディスプレイ⑥内の^{リモート}REMOTEインジケータが点灯します。

各部の名称とはたらき(つづき)

⑥マルチディスプレイ

トラックインジケータ

演奏中の曲番(トラックナンバー)を表示するインジケータです。
 ※OPEN/CLOSEキーによってディスクトレイをしめたときには、ディスクの総曲数が約3秒間表示されます。

プログラム/インデックスインジケータ

プログラム演奏やインデックスサーチを行なうとき、プログラムナンバーやインデックスナンバーを表示するインジケータです。プログラムをセットしている間はP-が点滅し、セットが完了すると点灯になります。

タイムインジケータ

時間を表示するインジケータです。TIME DISPLAYキー④の操作によって、次の3種類の時間を表示できます。
 TOTAL TIME : 総演奏時間
 REMAIN TIME : 残量時間
 ELAPSED TIME : その曲の演奏経過時間
 ※OPEN/CLOSEキーによってディスクトレイをしめたときには、ディスクの総演奏時間が約3秒間表示されます。

DISCインジケータ

ディスクがセットされているかどうかを表示するインジケータです。ディスクが正しくセットされていると点灯します。

RANDOMインジケータ

曲順を自動的に並べ換えて演奏(ランダム演奏)するとき点灯するインジケータです。

ミュージックカレンダー

ミュージックトライアングル(▽)演奏している曲を含めて、それ以後に演奏する曲を表示します。
 トラックナンバー(1~24)
 ディスクに収められている総曲数をトラックナンバーで表示します。

DELインジケータ

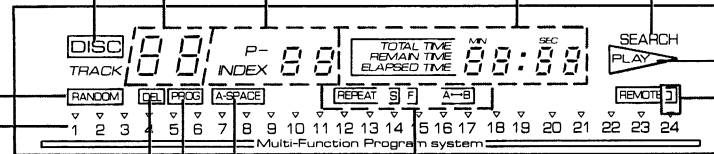
デリートプログラムがセットされていることを表示するインジケータです。

PROGRAM PROGインジケータ

プログラムがセットされていることを表示するインジケータです。

A. SPACEインジケータ

曲間のスペースを一定にする機能(オートスペース)がはたらいているとき点灯するインジケータです。



各部の名称とはたらき(つづき)

⑦メイン操作キー

ポーズ / ストップ PAUSE/STOPキー

演奏をポーズ、またはストップさせるキーです。
ポーズ(1回押し)：演奏しているところで一時停止。
ストップ(2回押し)：演奏を停止し、一曲目の頭で待機。

プレイ PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

オープン / クローズ OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイ②を開閉させるキーです。

プラス / マイナス + / - キー

お好みの曲を探すキーです。

	演奏時	ポーズ時(一時停止)
+	次の曲の頭から演奏	次の曲の頭でポーズ
-	その曲の頭から演奏	その曲の頭でポーズ

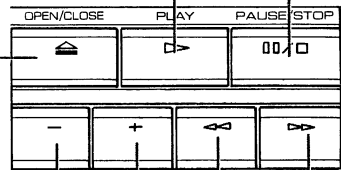
キーを押し続けると連続的に変化します。

早戻し / 早送り ◀ / ▶ キー

聴きたいところを探すキーです。

	演奏時	ポーズ時(一時停止)
◀	早戻し(音出しサーチ)	早戻し(音無し)
▶	早送り(音出しサーチ)	早送り(音無し)

キーを約3秒以上押し続けると、自動的にサーチ速度が速くなります。



サーチ SEARCHインジケータ

選曲中に点灯するインジケータです。

プレイ PLAYインジケータ

演奏中に点灯するインジケータです。
またポーズ中は点滅します。

リモート REMOTEインジケータ

リモコンからの信号を受光すると点灯するインジケータです。

REPEATインジケータ

くり返し演奏の種類を表示するインジケータです。
REPEAT S : 一曲リピート
REPEAT F : 全曲リピート
REPEAT A↔B : 2点間(A↔B)リピート

各部の名称とはたらき(つづき)

⑧ ^{スペース} ^{インサート} SPACE INSERTキー

曲と曲の間を約3秒間に整えて演奏を行なうキーです。(☞13ページ)

⑨ ^{インデックス} INDEXキー

インデックスサーチを行なうとき、インデックス番号の指定を可能にするキーです。

⑩ ^{ランダム} ^{プレイ} RANDOM PLAYキー

曲順を自動的に並べ替えて演奏(ランダム演奏)を行なうキーです。(☞23ページ)

⑪ 数字キー(+10, 1~0)

選曲やプログラム演奏を行なうとき、曲番(トラックナンバー)やインデックスナンバーを指定するキーです。

⑫ ^{ホーンズ} ^{レベル} PHONES LEVELツマミ

ヘッドホンの音量を調節するツマミです。

⑬ ^{ホーンズ} PHONESジャック

ヘッドホンを接続するジャックです。アンプの操作をせずに演奏をモニターできます。

⑭ ^{プログラム} PROGRAM操作キー

聴きたい曲をお好みの順番で演奏(プログラム演奏☞18~20ページ)を行なったり、聴きたくない曲を飛ばして演奏(デリートプログラム演奏☞21・22ページ)を行なうときに使用するキーです。

DELETE : デリートプログラムを設定するときに使用します。

SET/CHECK : プログラムの設定や確認をするときに使用します。

CANCEL : プログラムを取り消すときに使用します。

リモコン(RS-CD9)

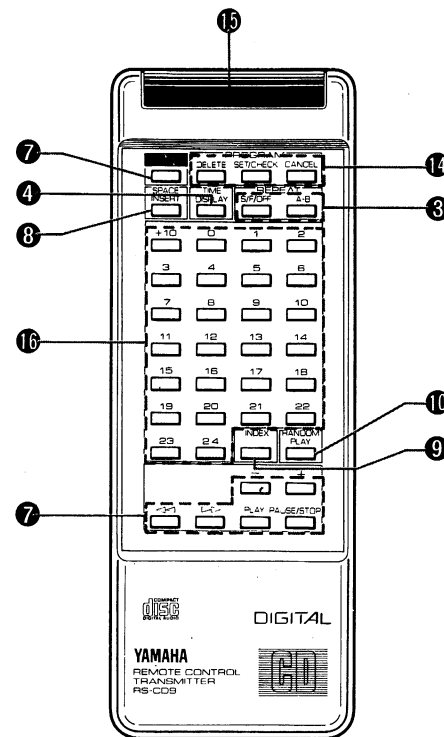
⑮ 送信窓

^{リモート} ^{コントロール} REMOTE CONTROL受光窓⑮へ信号(赤外線)を送る窓です。

⑯ 数字キー(+10, 0~24)

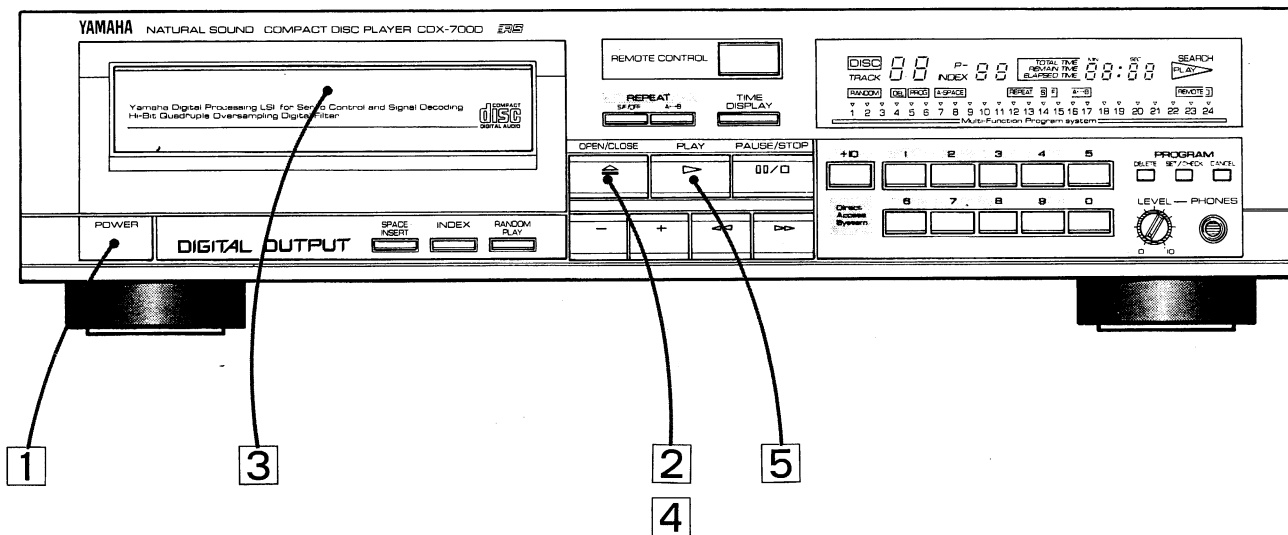
選曲するときに、曲番(トラックナンバー)を指定する数字キーです。

- リモコンの数字キー(10~24)以外のキーは本体のキーと同様の機能を持っています。



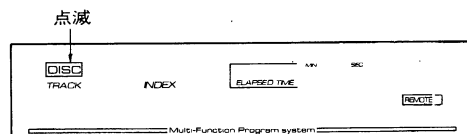
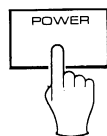
基本的な演奏

リモコンで操作するときは対応するキーをお使いください。



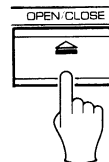
1 電源を入れます (リモコンでは電源をON/OFFできません)

POWERスイッチを押します。



2 ディスクトレイを開けます

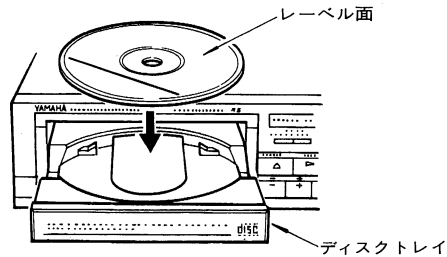
OPEN/CLOSEキーを押します。



3 ディスクを入れます

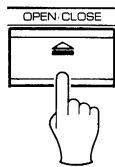
ディスクをケースから取り出しレーベル面を上にしてディスクトレイにのせます。

※レーベル面の反対側が音の記録面です。
(コンパクトディスクの記録面は片面だけです。)

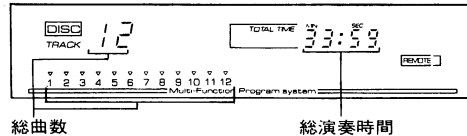


4 ディスクトレイを閉めます

OPEN/CLOSEキーを押します。



ディスクトレイが閉まりDISCインジケータが点滅から点灯に変わります。その後マルチディスプレイに総曲数、総演奏時間を約3秒間表示したあと一曲目の頭でストップ状態になります。

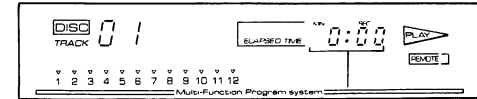
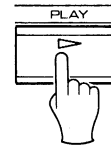


●オートスタートについて

PLAYキーを押すか、ディスクトレイを軽く押して閉めると、自動的に演奏が始まります。またディスクトレイにディスクがセットされた状態で電源をONにしたときも自動的に演奏が始まります。このときは総曲数、総演奏時間は表示せずに一曲目から演奏します。

5 演奏を始めます

PLAYキーを押します。



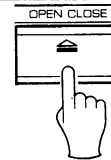
その曲の演奏経過時間を表示

一曲目から最後の曲まで連続して演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示し、最終曲まで演奏すると自動的にストップ状態になります。

ミュージックカレンダーについて

ミュージックトライアングル ディスクを入れると1から最終曲までのトラックナンバーおよびミュージックトライアングルが点灯します。ミュージックトライアングルは一曲演奏し終わることに消灯しますので残量曲数が一目でわかります。

ディスクの取り出し



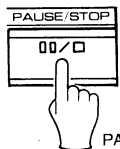
OPEN/CLOSEキーを押せば、いつでもディスクトレイを開けてディスクを取り出すことができます。

ディスクトレイの取り扱い

- ディスクトレイには、不要物などを入れないでください。故障の原因になります。
- 動作中は、ディスクトレイを手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐためディスクトレイを閉めておいてください。
- ディスクをセットしてDISCインジケータが点滅から消灯に変わり、曲番0を表示するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

基本的な演奏(つづき)

演奏を一時止めるには……………ポーズ

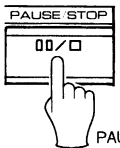


キーを押したところでポーズし、マルチディスプレイのPLAYインジケータが点滅します。演奏を再び始めるときはPLAYキーを押します。

PAUSE/STOPキーを1回押します。

※ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押すとストップ状態になります。

演奏を止めるには……………ストップ



マルチディスプレイのPLAYインジケータが消えストップ状態になります。

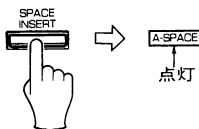
PAUSE/STOPキーを2回押します。

ディスクの録音に便利な機能…スペースインサート

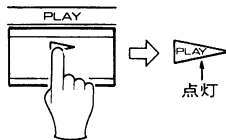
曲間が充分にないコンパクトディスクの場合、そのままテープに録音してもデッキで思いどおりに選曲できないことがあります。このような場合、曲間に適当なスペースを挿入するとデッキの選曲ミスを防ぐことができます。

①SPACE INSERTキーを押します。

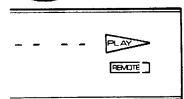
A.SPACEインジケータが点灯します。



②PLAYキーを押します。PLAYインジケータが点灯し、各曲間を3秒に整えて演奏します。

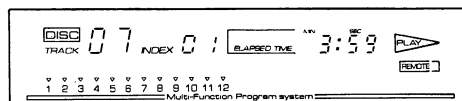


曲間の3秒間は、タイムインジケータに「-」が表示され、右に移動します。

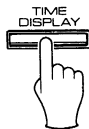


時間表示切換について

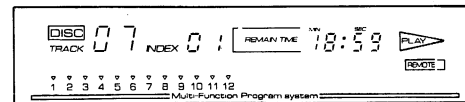
TIME DISPLAYキーによってマルチディスプレイの表示を切り換えることができます。



例) 7曲目を演奏中、3分59秒経過

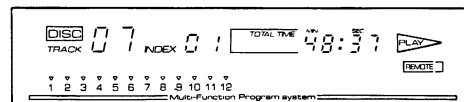


押すことに表示が切り換わります。



例) 7曲目を演奏中、演奏終了までの残量時間が18分59秒

例) 7曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分37秒



※総曲数が24曲以上のディスクによるランダム演奏はREMAIN TIMEとTOTAL TIMEが表示されない場合があります。

ご注意

- ディスクにキズなどがありますと演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。
- 偏芯したり、反ったディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中には本機を動かさないでください。演奏中ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり動かしたりしますとディスクに傷が付く恐れがあります。本機を動かすときには演奏をやめ、ディスクを必ず取り出してください。

好きなところから演奏

ダイレクト選曲

リモコンで操作するときは対応するキーを押してください。

ストップ状態で聴きたい曲番を数字キーで指定すればワンタッチで選曲することができます。

例えば……5曲目を聴くには

“5”を押します。



5曲目から演奏が始まります。

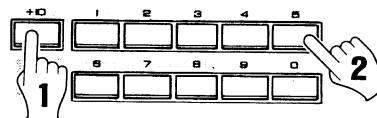
※ディスクトレイが開いた状態でもダイレクト選曲できます。

- 数字キーの代わりに“+”キーと“-”キーで選曲することもできます。
- 数字キーでディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定した場合は、自動的に最後の曲の演奏となります。
- ポーズ中に選曲した場合は、指定された曲の頭でポーズ状態となります。

“+10”キーについて

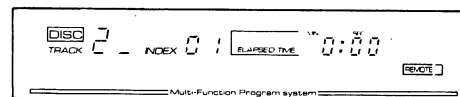
2桁の曲番を選曲するときに、“+10”キーを押して10の位を設定します。

例えば……25曲目を聴くには

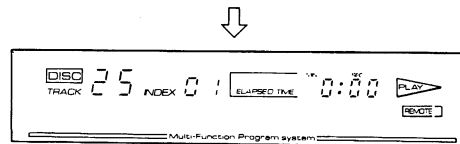
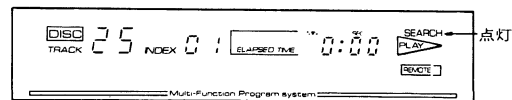


2回押す

① “+10”キーを2回押します。



② “5”キーを押します。



25曲目の頭から自動的に演奏が始まります。

※ “+10”キーは押すたびに 1_、2_、3_ と増え、9_ の次にもう一回押すと 0_ に戻ります。

※ “+10”キーを押してから、リモコンの数字キーを押せばその数が加算された曲番を選曲します。たとえば“+10”“20”と押すと、30曲目が選曲されます。

好きなところから演奏(つづき)

インデックスサーチ

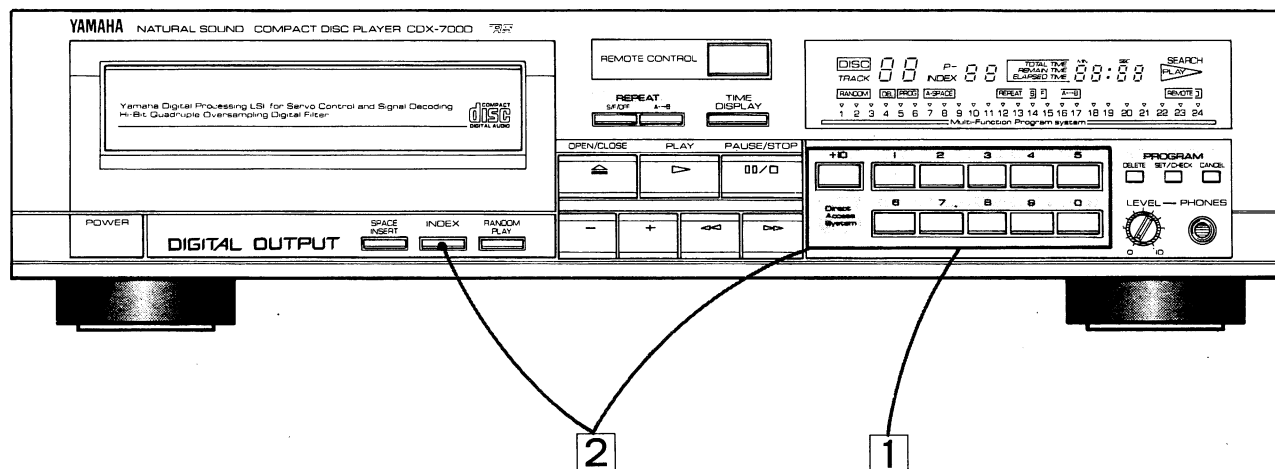
リモコンで操作するときは対応するキーをお使いください。

■インデックスナンバーとは **INDEX**

クラシック音楽等で一曲がいくつもの楽章によって構成されている場合、各楽章に番号が付けられており、インデックスナンバーと呼ばれています。演奏する前にコンパクトディスクの解説書によってお確かめください。

■インデックスの頭出し


インデックスナンバーが設定されているディスクの場合は数字キーでお好みのインデックスから演奏を始めることができます。



好きなところから演奏(つづき)

例えば…… 2 曲目のインデックス 3 を聴くには

1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3


 ここから演奏をはじめる場合

1 曲番を数字キーで選びます

“2”を押します。

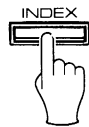


2 曲目の最初から演奏が始まります。

2 インデックスナンバーを指定します

INDEXキーを押します。

“3”を押します。



“INDEX”が点滅します。



“INDEX”が点灯になり
インデックス 3 から演奏
が始まります。

- ディスクに記載されているインデックスより大きな数を指定した場合、最終インデックスより演奏します。
- インデックスサーチのときは、曲の少し前から再生することがあります。
- インデックスの頭出しが終ると、インデックスサーチは解除されインジケータの点滅が点灯になります。
- インデックスの記録されていないディスクの場合、選んだ曲の頭から演奏が始まります。
- インデックスの頭出しには、多少時間がかかることがあります。
- インデックスサーチを解除するには、マルチディスプレイの“INDEX”が点滅中にINDEXキーを押してください。
- INDEXキーを押した後、数字キーを押さずに放置しますと、曲が終了するまで“INDEX”が点滅し続け、終了と同時に点灯に変わります。インデックスナンバーは、“INDEX”が点滅しているときのみセットできます。

演奏中に好きなところをサーチ

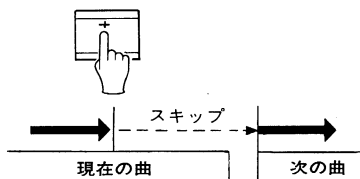
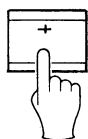
スキップ選曲

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。

演奏中またはポーズ中に前後の曲の頭出しが簡単に行なえます。

次の曲に進めるには

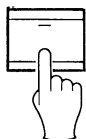
“+”キーを押します。



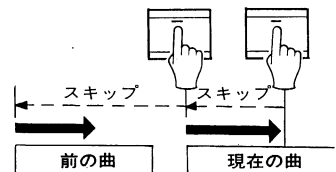
演奏中に“+”キーを押すと次の曲の頭へ進み演奏を始めます。

前の曲に戻すには

“-”キーを2回押します。



(1回押すと現在の曲の頭に戻ります)



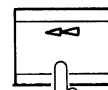
演奏中に“-”キーを1回押すと現在の曲の頭へ戻り、2回押すと前の曲の頭へ戻り演奏を始めます。

- “+”キーを押すたびに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に変化し、最終曲番で止まります。
- “-”キーを押すたびに前の曲の頭に戻ります。(演奏中はその曲の頭にまず戻ります) 押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

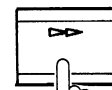
マニュアルサーチ

リモコンで操作するときは対応するキーをお使いください。

演奏中またはポーズ中に“<<”“>>”キーを使って聴きたいところを探すことができます。



早戻し



早送り

● 演奏中のとき(音出し中速サーチ)

“<<”キーまたは“>>”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、中速で早戻し・早送りします。早戻し・早送り中は再生音が小さな音(1/4)で聴こえます。聴きたい位置で指を離すと、そこから演奏を再開します。

● ポーズ中のとき(音ナシ高速サーチ)

“<<”キーまたは“>>”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で早戻し・早送りして、それ以上押し続けると、高速で早戻し・早送りします。指を離すと、その位置でポーズ状態になります。

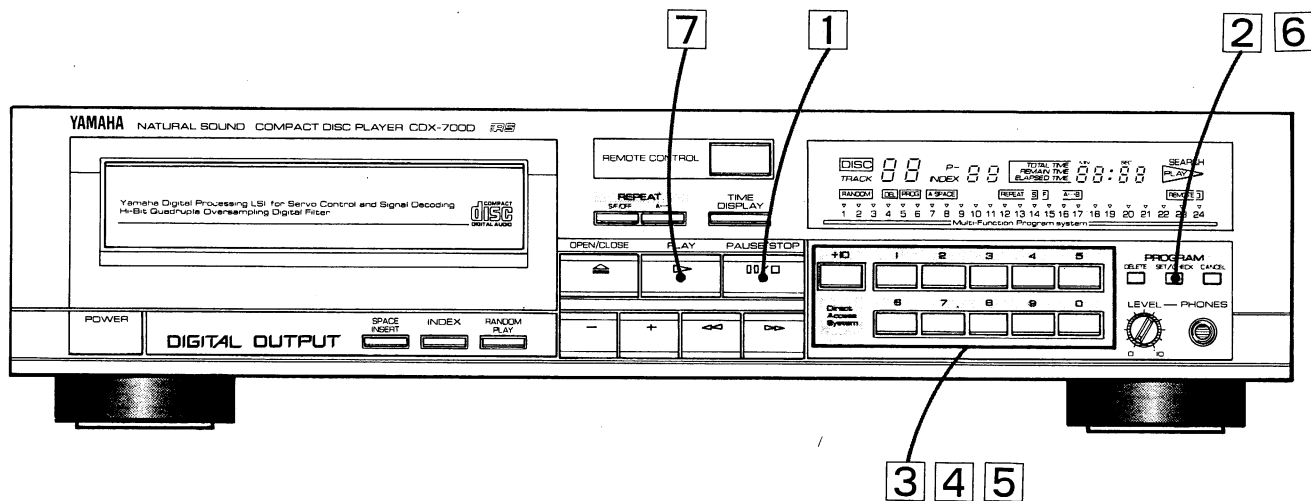
● ストップ状態のとき

“<<”キーまたは“>>”キーを押しても変化しません。

聴きたい曲をお好みの順番で演奏

プログラム演奏

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。



聴きたい曲を好きな順番にならびかえて最大24曲まで演奏することができます。

例えば…… 2曲目、6曲目、5曲目の順番でプログラムするとき。

1
ストップ状態にします

PAUSE/STOPキーを2回押します。

2
SET/CHECKキーを押します

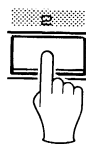
このときミュージックトライアングルはすべて消灯し、ミュージックナンバーは、ディスクの収録曲数だけ点灯表示します。

P- 01 (プログラム1) にプログラムのセットができることを表示します。

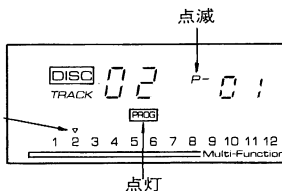
聴きたい曲をお好みの順番で演奏(つづき)

3 曲番(2曲目)をセットします

“2”を押します。



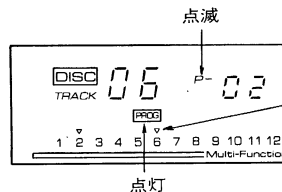
2曲目のミュージック
トライアングルが点灯



P- 01に2曲目がセットされました。

4 曲番(6曲目)をセットします

“6”を押します。

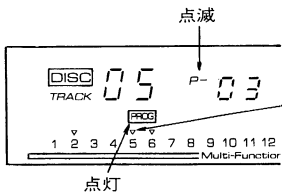


6曲目のミュージック
トライアングルが点灯

P- 02に6曲目がセットされました。

5 曲番(5曲目)をセットします

“5”を押します。



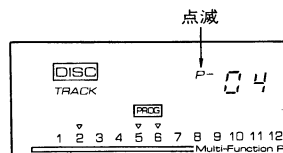
5曲目のミュージック
トライアングルが点灯

P- 03に5曲目がセットされました。

※この状態から直接PLAYキーを押してもプログラム演奏を始めることができます。

6 プログラムのセットを終了します

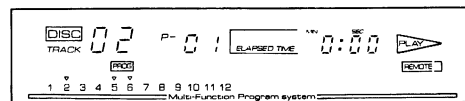
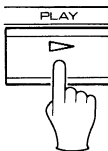
SET/CHECKキーを押します。



これでプログラムは完了しました。

同様にプログラムはP- 4までセットすることができます。

7 PLAYキーを押すとプログラム演奏が始まります



P- 01からプログラムした順番に演奏が始まります。

● TIME DISPLAYキーを押すと……。

TOTAL TIME 表示のとき：プログラムの総演奏時間を表示します。

REMAIN TIME 表示のとき：プログラムの残量時間を表示します。

ELAPSED TIME表示のとき：その曲の経過時間を表示します。

※プログラムセット中およびプログラムをすでにセットした状態でストップしている時は、TIMEモードはTOTAL TIMEに自動的に固定されます。

● プログラム内容の確認

ストップ中にSET/CHECKキーを押せばプログラムの確認ができます。

プログラムの変更と取り消し

プログラムの変更

1. ストップ状態でSET/CHECKキーを押し変更したいプログラム番号を、マルチディスプレイに表示させます。
2. 数字キーで新しい曲番を選び、セットし直します。前のプログラムは消え、新しいプログラムに変わります。

プログラムの取り消し

全プログラムを取り消すには

- ストップ状態でCANCELキーを押す。
- ディスクトレイを開ける。
- 電源を切る。
- プログラムのセット終了後SET/CHECKキーを押してプログラムの頭に戻した状態(P-が点滅から点灯になった状態)でCANCELキーを押す。

プログラムを一曲だけ取り消すには

- ストップ状態でSET/CHECKキーを押し(P-が点滅の状態にする)取り消したい曲番をマルチディスプレイに表示させてCANCELキーを押せば、その曲が取り消され、次の曲がそのプログラム番号へ入ります。

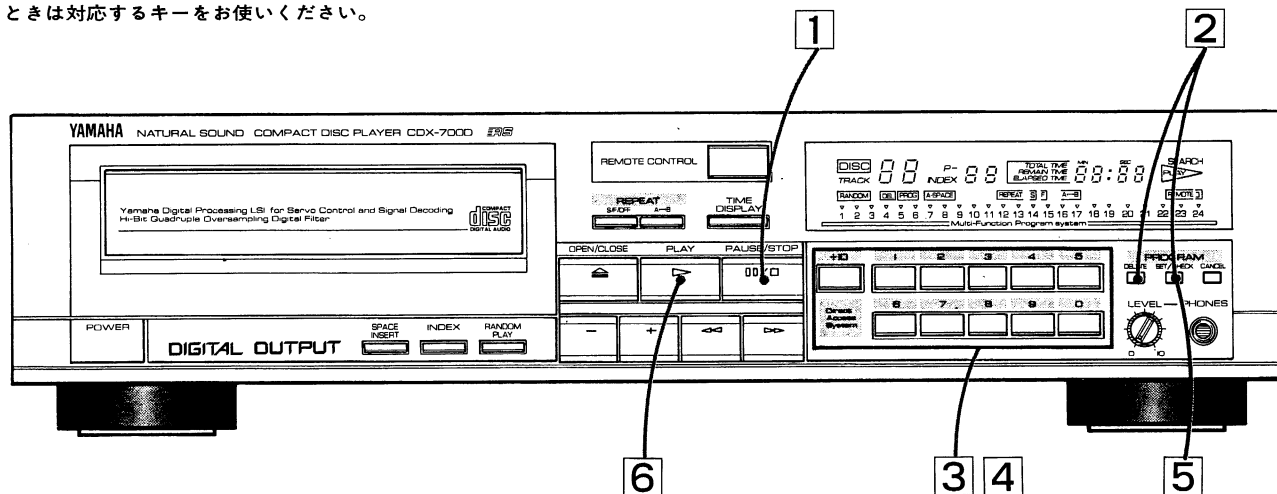
ご注意

- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラム総演奏時間が99分59秒を越えたときのTOTAL TIME表示とREMAIN TIME表示は、100分を差し引いた残り時間を表示します。
- プログラム演奏で曲番が24以上の曲をプログラムしたときはREMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

聴きたくない曲を飛ばして演奏

デリートプログラム演奏

リモコンで操作するときには対応するキーをお使いください。



ディスクの聴きたくない曲だけ飛ばして演奏することができます。

例えば……10曲収録されているディスクの2曲目と6曲目を飛ばして演奏するには

1 ストップ状態にします

PAUSE/STOP キーを2回押します。

2 DELETEキーを押し、次にSET/CHECKキーを押します

ミュージックカレンダーが収録曲数だけ点灯し、P-01(プログラム1)にデリートプログラムのセットができることを表示します。

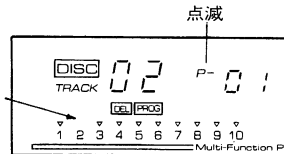
聴きたくない曲を飛ばして演奏(つづき)

3 2曲目をセットします

"2"を押します。



2曲目のミュージックカレンダーが消灯します。



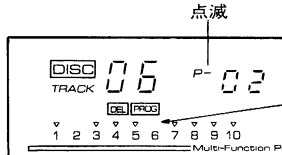
P-01に2曲目がセットされ、ミュージックカレンダーの2曲目が消えます。

4 6曲目をセットします

"6"を押します。



6曲目のミュージックカレンダーが消灯します。



P-02に6曲目がセットされ、ミュージックカレンダーの6曲目が消えます。

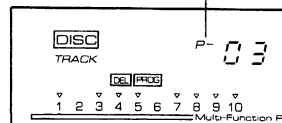
※この状態から直接PLAYキーを押してもデリートプログラム演奏を始めることができます。

5 デリートプログラムのセットを終了します

SET/CHECKキーを押します。

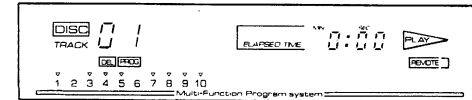
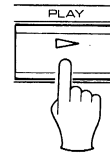


点滅



P-が点滅から点灯に変わり、デリートプログラムのセットが終了したことを表示します。

6 PLAYキーを押すとデリートプログラム演奏が始まります



1曲目より演奏が始まり、2曲目と6曲目を飛ばして順番に演奏していきます。

※デリートプログラムの変更と取り消しの方法は、プログラムの変更と取り消しの方法(⇒20ページ)と同じです。

※デリートプログラム演奏中に数字キーを操作した場合、または早送り・早戻しキーでプログラム演奏する曲以外へ移動した場合、ディスプレイは自動的にELAPSED TIMEモードに切り換わり、そのモードに固定されます。

※ディスクに入っている曲を全曲デリートプログラムした場合、数字キーによるダイレクト選曲はできません。ダイレクト選曲をしたいときはプログラムを一度キャンセルしてください。

※プログラムセット中およびプログラムをすでにセットした状態でストップしているときはTIMEモードはTOTAL TIMEに固定されます。

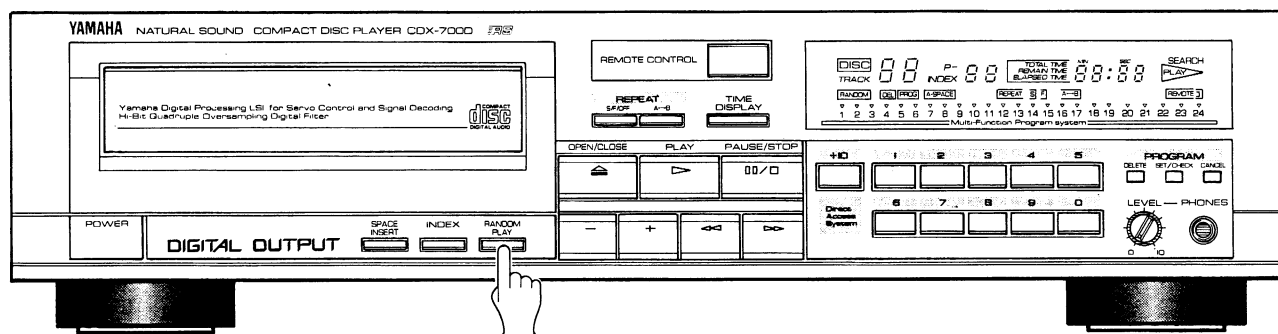
※総曲数が24曲以上のディスクの場合、24曲以上の曲をデリートプログラムすることはできません。

※ディスクに入っている最初の曲と最後の曲を両方ともデリートプログラムした場合、数字キーによるダイレクト選曲はできません。

曲順を自動的に並べ換えて演奏

ランダム演奏

ディスクの曲順を自動的に並べ換えて、1回通り演奏する機能です。



RANDOM PLAYキーを押します



RANDOM
点灯

マルチディスプレイの「RANDOM」が点灯し、ランダム演奏が始まります。

- プログラムのセット中と演奏中には、ランダム演奏は受け付けません。
- ランダム演奏中、INDEXキーは受け付けません。
- 次のキーを押すとランダム演奏は解除されます。
RANDOMキー、数字キー。

くり返し演奏

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。

ディスクの全曲または聴きたいところだけをくり返して演奏することができます。

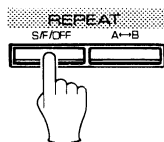
一曲リピート (REPEAT S) : お気に入りの1曲をくり返し演奏します。

全曲リピート (REPEAT F) : ディスクの全曲をくり返し演奏します。

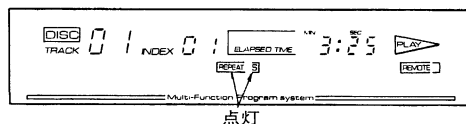
2点間 (A-B) リピート : 指定した区間をくり返し演奏します。

一曲リピート : REPEAT S

現在聴いている曲をくり返し演奏する機能です。



マルチディスプレイの「S」が点灯するまで押します。



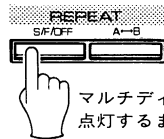
例) 1曲目をくり返し演奏します。

※プログラム演奏中、テリートプログラム演奏中およびランダム演奏中にも一曲リピートをセットすれば、演奏中の曲をくり返し演奏します。

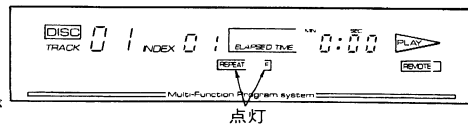
※プログラム演奏中の一曲リピートの場合、数字キーで他の曲へスキップしてもその曲が終われば元の曲に戻り、一曲リピートします。

全曲リピート : REPEAT F

ディスクの全曲をくり返し演奏する機能です。 ディスクの最後の曲を演奏し終ると最初の曲へ戻り演奏をくり返します。



マルチディスプレイの「F」が点灯するまで押します。

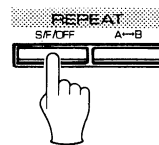


※プログラム演奏とテリートプログラム演奏を全曲リピートできます。ランダム演奏の場合、一通りランダム演奏が終了してから新たにランダム演奏を行ないます。

リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すたびにリピート機能が切り換わります。

→ リピートOFF → 一曲リピート (REPEAT S) → 全曲リピート (REPEAT F) →



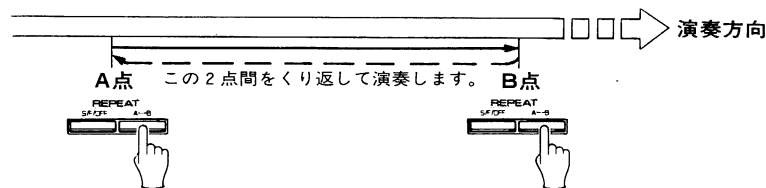
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

ご注意

- インデックスのリピート演奏はできません。
- ディスクトレイを開けたり、電源スイッチを切りますとリピート演奏は解除されます。

2点間 (A-B) リピート

好きなところを指定すれば、その区間をくり返して演奏することができます。



1 演奏中またはポーズ中にくり返し聴きたいところでA↔Bキーを一回押します。

2 くり返しを止めたいところでA↔Bキーを押します。これでA点とB点の間でリピート演奏が始まります。

● 2点間リピートの解除

REPEAT操作キー (S/F/OFF) を一回押すと2点間リピートは解除されます。

※ランダムプログラム演奏中に2点間リピートを行なうことはできません。

タイマー演奏

オーディオタイマー(別売)と組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができます。

- ①本機の電源プラグをアンプの連動コンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③アンプおよび本機の電源スイッチを入れてコンパクトディスクをセットします。
- ④アンプの入力ソースを"CD"にセットし、音量を調整します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。

(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

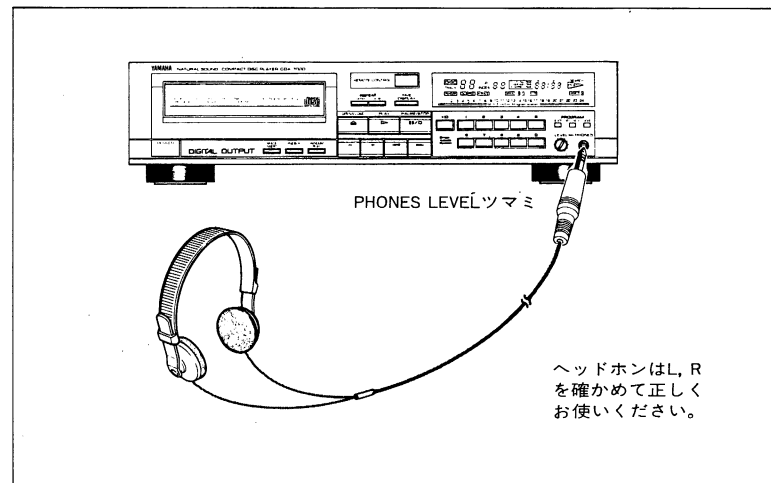
※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

以上でタイマーにセットした時刻がくるとディスクの1曲目から自動的に演奏が始ります。

ヘッドホンについて

本機のPHONESジャックを利用すれば、ヘッドホン(別売)で演奏をお楽しみいただけます。

※ヘッドホンの音量は、PHONES LEVELツマミで調整できます。



故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上に入れてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン送信機では操作できない	乾電池が消耗している	受信シグナルが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	送信機を受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	5 Hz～20kHz ±0.3dB
高調波歪率+雑音	0.004%以下(1 kHz, EIAJ)
SN比	100dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	95dB以上(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	92dB
出力電圧/出カインピーダンス	2 Vrms / 2 k Ω
ヘッドホン出力電圧(150 Ω のとき)	700mV(-20dB信号)

■方式

光ピックアップ	3 ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC 2重エラー訂正方式
D/A変換	16ビットリニア
フィルター	4倍オーバーサンプリングデジタルフィルタ ー+3次アクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	"+" "ー"キーによる順次選曲、数字キーによるダイレクト選曲
インデックスサーチ	INDEXモードにて数字キーでダイレクト選曲
音出しサーチ	"<<" " >>"キーによるサーチ、2段階スピード自動切換
プログラム機能	24曲ランダム
デリートプログラム機能	数字キーにてデリートする曲を指定
リピート機能	1曲、全曲、A \leftrightarrow Bプログラムリピート
スペースインサート機能	曲間に3秒間のスペース
ランダム演奏	ディスク内の曲をランダムに演奏

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	12W
外形寸法(W×H×D)	435×107×347(mm)
重量	4.7kg
付属品	出力コード リモコンユニット(RS-CD9) 乾電池(単3 SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市西上町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 オーディオ北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F オーディオ仙台営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F オーディオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691 オーディオ神田営業所 TEL(03)255-6767 オーディオ北関東営業所 TEL(03)255-1825 オーディオ横浜営業所 TEL(044)434-4871 オーディオ東京営業所 TEL(03)255-2302
名古屋	〒464 名古屋市中種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 オーディオ中部営業所 TEL(052)782-7551 オーディオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 オーディオ関西営業所 TEL(06)647-6411 オーディオ大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いざん広島ビル内 オーディオ中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 オーディオ九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 オーディオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

オーディオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

